

平成24年3月

漁船海難隻数 (速報値)	
衝突	6
乗揚	2
転覆	0
浸水	0
推進器障害	1
舵障害	0
機関故障	1
火災	0
爆発	0
行方不明	0
運航阻害	0
安全阻害	0
その他	1
<b>合計11隻</b>	
県別 (内訳)	
山口県	1
福岡県	2
佐賀県	2
長崎県	5
大分県	1

漁船人身事故者数	
負傷	3
病気	1
海中転落	1
その他	0
<b>合計5名</b>	

漁を行うため、朝方出港した漁船A丸(3名乗り)は、昼過ぎに漁を終えたことから、港に帰るため航行を開始しました。その後、周囲の見張りを十分に行うことなく航行したため、前方にいた同じ漁協の所属漁船B丸(1名乗り)に気づくことができずに衝突してしまいました。  
 B丸の船長は衝突の影響で海に投げ出され、A丸によって救助されましたが、搬送先の病院で死亡(溺死)が確認されました。  
 この衝突は、周囲の見張りを的確に行っていれば起きなかった海難です。衝突は大けがや死亡に繋がる海難です。衝突してから後悔したのでは遅いのです。「**自分、そしてみんなの幸せのために、しっかりと見張りを行い、安全に運航しましょう!**」

三月の海難事例

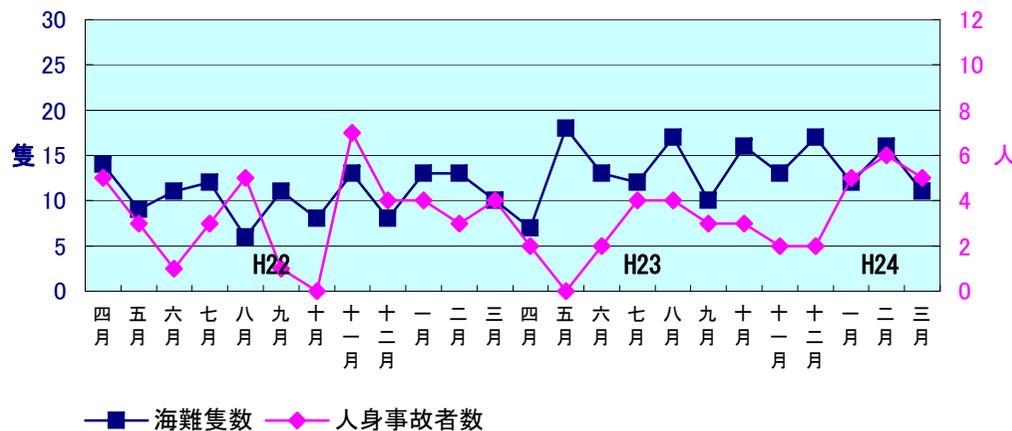
三月の漁船海難隻数は十一隻!  
 このうち、漁船の衝突が六隻と半数以上を占めています。衝突が六隻と半数以上を占めているのは、非常に高い割合です。他の原因は、見張り不足、十分な圧迫的の結果となっており、十分に注意する必要があります。

運航中のチェックポイント

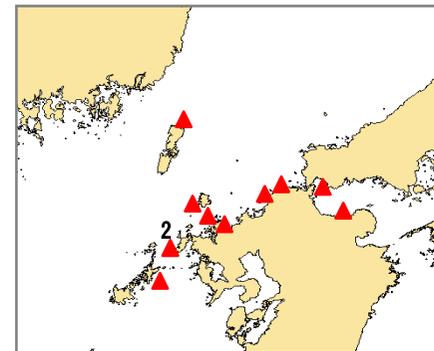


- ★常時、的確な見張りを行っていますか?
- ★相手船が避けてくれるだろうと思っていないですか?
- ★安全な速力で航行していますか?
- ★海上交通ルールを守っていますか?

漁船海難発生隻数及び漁船における人身事故者数の推移



平成24年3月 漁船海難発生地点



平成二十四年三月分

漁船海難月報 (速報)

第七管区海上保安本部

県別の表は、各県に所在する海上保安部署において取り扱った海難の合計数を示しています。 ※数値は速報値です。